

附
錄

一、中央銀行ノ金在高

單位百萬金貨マルク（一九一三年及び一九一四年ハコントラード年鑑ニ從ヒ、次年度ハ悉ク銀行報告ニ從フ）

國	年	末	半 期
ドイツ國	一九一三	一九一四	一九一八
	一九一四	一九一八	一九二一
ライヒスバンク	一三六五の	二〇九三	二二六二
	六五	六四	六四
私的發券銀行	一〇五五	一〇五二	二二三
	一〇五五	一〇五二	二二三
オーストリア	—	—	—
	—	—	—
ハンガリー	—	—	—
	—	—	—
チエツコスロバキヤ	—	—	—
	—	—	—
ブルガリヤ	二五三〇	三二五四	四四
	四五	四五	四五
ロシヤ	三二七八	三三五六	一四〇〇(?)
	二九	三三	三五
フィンランド	—	—	—
	—	—	—
ポーランド	三三〇七	三三八九	一四三五
	—	—	—
ボヘミア	—	—	—
	—	—	—

大英帝國

イギリス	六九二	一四一四	一六一〇	二六一八	二六三四
スコットランド	一一九	一二六	五二一	五一六	四九一
アイルランド	八七	九六	五五〇	三〇〇	二五四
フランス	八九八	一六三六	二六八一	三四三四	三三七九
ベルギー	二〇二	二二二	二二五	二二六	二二六
イタリア	一一一四	一一二四	一〇七七	一一一五	一一二七
ポルトガル	二八四一	三三六八	(四四三七)の	(四四七五)の	(四四七八)の
スペイン	一一一四	一一二四	一〇七七	一一一五	一一二七
ギリシャ	二〇二	二二二	二二五	二二六	二二六
ルーマニア	一一三	一二五	四〇〇	四〇一	四一四
セルビア	四八	五七	—	六〇	五二
スウェーデン	四三二八	四八八六	六二二九	六二六七	六二八七
オランダ	一一三八	一九三	三三六	四四五	四三〇
デンマーク	二五六	三六六	一一六三	一〇二三	一〇二三
ドイツ	八九	一〇七	二二九	二五七	二五七
ノルウェー	一一五	一二二	三三二	三〇九	三〇八
スウェーデン	八三	七八	一三七	一六六	一六五
フィンランド	三八八	四六四	一八〇五	二〇三六	二〇四四
ポーランド	三四	三六	三九	三九	三九
ギリシャ	一九	三〇	四四	四六	四五

アメリカ合衆國	六〇三二	五九三六	八七七五	一二五六〇	一二六八二
ブラジル	三六八	二三五	六五	一〇六	一一〇
アルゼンチン	一一九五	一一一三	一三五三	二〇四九	(二〇四九)
日本	四六九	四四六	一四九二	二六〇九	二六八〇
英領殖民地					
エジプト	四三	九〇	六七	六九	七一
オーストラリア	九二	一六三	四三七	四七五	四七六
カナダ	六四七	六三八	八一九	六七二	六七二
英領印度	五一六	三三三	二六七	三二八	三三一
總計	二二五四七	二二五一五	三〇一八六	三五一七六	三四七〇六

- 註(1) 帝國軍事費ノ一九五ミリオネン金貨マルクを含む。
- (2) 其ノ中ノ大半ハ外國ニ(英國)。
- (3) 三發券銀行ノ現在高 公債借リ換ヘ金庫。
- (4) 三發券銀行ノ現在高 借換金庫銀行及ビ公債借リ換基金ノ金、即チ一九二二年ノ中間ニ對シ。
- (5) 三發券銀行ノ現在高 テハ前ノ數字デ申告書ノ不足ヲウズメタ。

二、紙幣流通

本位貨幣ノ單位——百萬——

國	本位貨幣ノ單位	年	末	一九一三年ニツキテハ互換
ド	マルク	一九二三	一九二一	一九一八 (一九二三=)
オーストリア	クローネ	二八二七	二二四九七	一一・七
ハンガリー	ク	二四九四	四二五六〇	一七・一
ドイツ	ク	二四九四	一七四一・一五	—
ハンガリー	ク	—	二五一七五	—
チエッコスロヴァキヤ	ク	—	二二二三〇 ⁽²⁾	—
ブルガリア	レヴ	一八九	三六一五	一四・四
ルーマニア	ルーブル	一六六九	約一七五四三九〇〇	三六・七
フィンランド	マルク	一一三	一三五六	一〇・二
ポーランド	マルク	—	二二九五三八	—
イギリス	ポンド	三〇	四五二〇	一三・三
フランス	フラン	五七二四	三六四八七	五・三
スウェーデン	クローネ	—	—	—
ノルウェー	ク	—	—	—
デンマーク	ク	—	—	—
オランダ	グuilder	—	—	—
ベルギー	フラン	—	—	—
イタリア	リラ	—	—	—
スペイン	ペセタ	—	—	—
ポルトガル	エスクド	—	—	—
ギリシャ	ドラクマ	—	—	—
アメリカ合衆國	ダラー	—	—	—
ブラジル	ミルレイス	—	—	—
アルゼンチン	ペリ	—	—	—
日本	圓	—	—	—
英領殖民地	ポンド	—	—	—
エチオピア	シリング	—	—	—

イタリヤ	リラ	二七八二	一一三八七四	二一四七六	五・〇	七・七
ベルギー	フラン	一〇六七	三二一〇	六二九〇	三・〇	五・九
ルーマニア	リユ	四三七	二四八九	一三七二二 ⁽³⁾	五・七	三一・四
セルビア	ダイナール	一〇三	—	四六八八 ⁽³⁾	—	四五・四
スウェーデン	フラン	三二四	九七六	一〇〇九	三・一	三・二
オランダ	グuilder	三二一	一一三八	一〇四六	三・六	三・三
デンマーク	クローネ	一五二	四五〇	四七一	三・〇	三・一
スウェーデン	ク	二三四	八二四	六二八	三・五	二・七
ノルウェー	ク	一〇八	四三六	四一九 ⁽⁴⁾	四・一	三・九
スペイン	ペセタ	一九二四	三三一六	四二四四	一・七	二・二
ポルトガル	エスクド	八七	二七四	七二三	三・二	八・三
ギリシャ	ドラクマ	二四五	一二七四	一一六一	五・二	八・八
アメリカ合衆國	ダラー	二五七五	四七一九	四三五二	一・八	一・七
ブラジル	ミルレイス	八九七	一七〇〇	二〇八六	一・九	二・三
アルゼンチン	ペリ	八二三	—	一三六三	—	一・七
日本	圓	四二六	一一四五	一五四七	二・七	三・六
英領殖民地	ポンド	—	—	—	—	—
エチオピア	シリング	—	—	—	—	—

オーストラリアの	ポンド	一〇	五九	五六	五・九	五・六
カナダ	ドル	一二四	二四二	一九六	二・〇	一・六
英領印	度	ルビ	六四六	一四七一	一七二五	二・三
						二・七

- 註(1) 大蔵省手形買戻シノ爲メ抑留スル紙幣ヲ含ム。
 (2) 歐洲大戰後ニ獲得シタル、オーストリア・ハンガリー銀行券ヲ含ム。
 (3) 一九一八年十二月十一日ニ於ケル、ポーランド土地貸付金庫ノ紙幣流通。
 (4) 大凡九千三百クローネノ國家紙幣ヲ含ム。
 (5) ギリシヤ國立銀行ノ合併シタル銀行及ビ、イラニヤ銀行ヨリ發行サレタル紙幣ヲ含ム。
 (6) 借換金庫紙幣ヲ含ム。
 (7) 國家紙幣

三、紙幣流通の總合

本位貨幣單位—百萬—

國	本位貨幣單位	一九一三年	一九一八年	末
ドイツ	マルク	一九一三	一九一八	一九二一
帝國銀行券	マルク	二五九三	二二一八八	一一三六三九
帝國金庫證券	ク	七四	三五六	一九八
貸付金庫證券	ク	—	一〇二四二	八三二五

私的發券銀行券	マルク	一六〇	二八三	三三五
オーストリアーハンガリー	クローネ	—	三五五八九	—
銀行券	ク	—	六九七二	—
貸付金庫證券	ク	—	—	—
ブルガリヤ	レヴ	—	二二九九	—
銀行券	ク	—	四一〇	—
國家紙幣	ク	—	—	—
イングランド	ポンド	—	七〇	—
英蘭銀行券	ポンド	—	三三三	—
カレンシーノート(政府紙幣)	ポンド	—	—	—
イタリヤ	リラ	—	—	—
銀行券	ク	—	—	—
國家紙幣	ク	—	—	—
オランダ	グルデン	—	—	—
銀行券	ク	—	—	—
證券	ク	—	—	—

國家紙幣	ドルデン	—	六九	三三
アメリカ合衆國	ドル	—	六六三	四三八
金證明書	ドル	一〇二八	二六五	二七九
銀證明書	ドル	四七八	二	二
大藏省手形	ドル	三	三三八	三四二
合衆國紙幣	ドル	七二六	六九六	七三二
國立銀行券	ドル	—	二六三一	二四四四
聯邦準備券	ドル	—	一二五	一一五
聯邦準備銀行券	ドル	—	—	—
カナダ	ドル	—	—	—
銀行券	ドル	九六	二〇三	一六三
國家紙幣	ドル	二八	三九	三三

注(1) 大藏省手形ノ買戻シノ爲メニ抑留スル紙幣ヲ含ム。

四、外國爲替相場

(ドルニ對スル平價ノパーセンテージニ於ケル爲替状態)

本位貨幣 市場ニ於ケル法定本價 一九一三 一九一八 一九一九 一九二〇 一九二一 一九二二
 單位 一九一三 一九一八 一九一九 一九二〇 一九二一 一九二二

每年十二月平均

ヨロツバ	マルク	一九一三	一九一八	一九一九	一九二〇	一九二一	一九二二
ドイツ	クローネ	九二・五〇	五〇・七六	八・九八	五・七五	二・一九	〇・五五
オーストリア	レヴ	九二・五二	三三・三〇	二・九五	一・二九	〇・一八	〇・〇七
ブルガリヤ	レヴ	八七・六二	—	—	六・〇二	三・五〇	三・八三
ロシア	ルーブル	九二・一九	—	—	〇・三〇	〇・五	〇・〇〇一
帝政ルーブル券	ルーブル	—	—	—	—	—	—
デニーマルク紙幣	デニーマルク	—	—	—	—	—	—
英國	ポンド	九二・四三	九二・九一	七六・四一	七・七三	八五・〇四	九四・三八
フランス	フラン	九二・八一	九二・四三	四八・九七	三〇・七一	四〇・五八	三七・三〇
イタリア	リラ	九二・八一	九二・一〇	八二・四七	三九・〇七	三二・九四	三三・九七

其ノ他ノ諸國家

マ	ペ	ボ	シ	エ	日	上	ホ	シ	エ	コ
ニ	ル	ソ	ン	ジ			ソ	ヤ	ク	ロ
ラ	シ	ベ	ガ	ア	本	海	コ	ム	ア	ン
	ヤ	イ	ポ	ト			ソ		ド	ビ
			ール						ル	ヤ
ベ	ク	ル	ダ	ボ	エ	テ	ダ	チ	ス	ベ
ソ	シ	ビ	ラ	エ	圓	ラ	ラ	カ	ク	ソ
	ラ	ー	ー	ン		ー	ー	ル	レ	
	ソ			ド		ル				
二・一〇	〇・八一	一・三六	二・三八	二〇・七五	二・〇九	二・七七	二・〇三	一・五七	二・〇四	四・〇九
—	—	六七・〇七	一〇〇・一三	九九・八九	九九・九六	九五・九三	九六・九三	一〇〇・四八	—	—
九九・七六	—	二〇・五二	九九・五二	九九・七七	一〇五・八二	一八六・九九	一六九・四〇	—	—	—
九六・〇〇	—	一三八・七三	九六・八七	七七・三二	一〇〇・七〇	三三〇・三七	一九五・三九	—	—	—
九二・〇〇	—	七八・三三	七三・九七	七三・三八	九五・七九	一一二・五七	一二六・四〇	—	—	—
九五・六七	五五・三八	八四・七三	八四・六三	八五・八六	九五・九二	一一四・四三	一一三・九〇	一一五・四四	四九・六一	九二・四五
九七・七九	四二・七五	九二・六三	九三・〇三	九三・五七	九七・一七	一〇六・二六	一〇七・八三	一一八・〇九	五五・〇八	九七・六七

貨幣理論

昭和十五年六月十五日印刷
昭和十五年六月二十日發行

定價三圓八十錢

譯者 青木孝義

發行者 竹內富子
東京市神田區西神田二ノ二

發行所 三笠書房
東京市神田區西神田二ノ二
電話九段四〇一三番
振替東京二〇九六番

印刷所 堀内印刷所
東京市神田區三崎町二ノ二



現代の精神

清水幾太郎著

四六判三二〇頁
定價一圓八十錢

世界觀の問題

樺 俊雄著

菊判二五五頁
定價二圓三十錢

凡そ現代の混沌たる社會にあつて、將來の文化建設を翹望する知識人にして最大の關心を寄せざるを得ぬ問題こそ本書の取扱ふ所である。かゝる根本的な世界觀の問題は、哲學、科學等凡そ精神文化に關心を持つ人の思ひを潜むべきものである。

知性の敗北

池島重信著

四六判二六四頁
定價一圓五十錢

知性の過重は生命の壓殺である。と看する著者が、夙にこれを豫見して、その作品に訴へたドストイェフスキイの文學的性格を解剖分析し、現代意識へ對する多大の暗示を齎したのが本書である。刊行後廣く一般知識層の壓倒的支持を得た名著である。

情熱の論理

池島重信著

四六判二七二頁
定價一圓五十錢

哲學者としてまた文藝評論家としての、常に最高水準を歩む著者が、その成熟せる文藝思想の一大集結を見たのが本書である。新しい文藝は如何にして生れねばならぬか、知性の問題を始め、現代文明の心臓を突いた、一般知識人への好論著である。

三笠書房刊行

社會政策

江森盛彌著

新四六判二四八頁
定價九十五錢

本書が刊行されるや世の絶讃を博したと云ふよりむしろ學界を矚目せしめた所以はその尨大な文獻と細密な輯集といふことよりも前人未踏の方法論であらう。本書を繙いた總ての知識人の口にするのは全く新しい社會觀への魅力である。

國家總動員法・經濟統制法

佐藤・峯村著

新四六判三四四頁
定價一圓

總動員法と經濟統制法の制定及び發動は我國の自由主義への最後の斷であつた。いかなる文化人といへどもこの法の理解なくては我國の政治・經濟・思想・文化等の歸趨動向も理解することは出来ないし、語る資格もない。

歐洲商業發達史

松葉榮重譯

四六判二五九頁
定價一圓五十錢

經濟史を究める上におよそ第一の入門として讀むべきものといへば本書であらう。これは又高度な西歐資本主義の錯綜した脈管たる複雑な商業發達史の全貌を政治史と關聯させて究明した點一般文化史としても亦秀れた名著である。

近代技術史

岡・樹本譯

菊判四四九頁
定價二圓三十錢

技術水準の如何は、今日その國の死活を制すると云はれる。本書は從來我々が知識として求め、しかも與へられなかつた幾多の技術的知識を網羅するもので世界最初の技術史として定評あるもの。豊富な挿畫解説索引丈けでも他に得られない文獻。

三笠書房刊行

世紀の論理 室伏高信著

四六判三〇〇頁
定價一圓五十錢

新しい世紀の建設に向つて、本書は絶大な世の要望にかられて登場したとも云へる。文明評論家としての著者が全蕪善を傾け、現代社會、哲學、政治、宗教、文藝等凡ゆる部門に亙つて新しい指導的教養の大綱を示した苦心の名著である。

現代思想概観

榊俊雄・龜井勝一郎著
戸田武雄・瀧口修造著

四六判二九七頁
定價一圓五十錢

現代文化の潮流を、いろいろの角度から鳥瞰圖のなかに收めたものが本書だ。榊俊雄氏の哲學、龜井勝一郎氏の文學、戸田武雄氏の社會科學、瀧口修造氏の美術。いづれも視野を廣くして一般知識人に呼びかけてゐる。斯くて思想體系の豪華版となる。

現代の哲學 榊俊雄他著

四六判三五〇頁
定價一圓五十錢

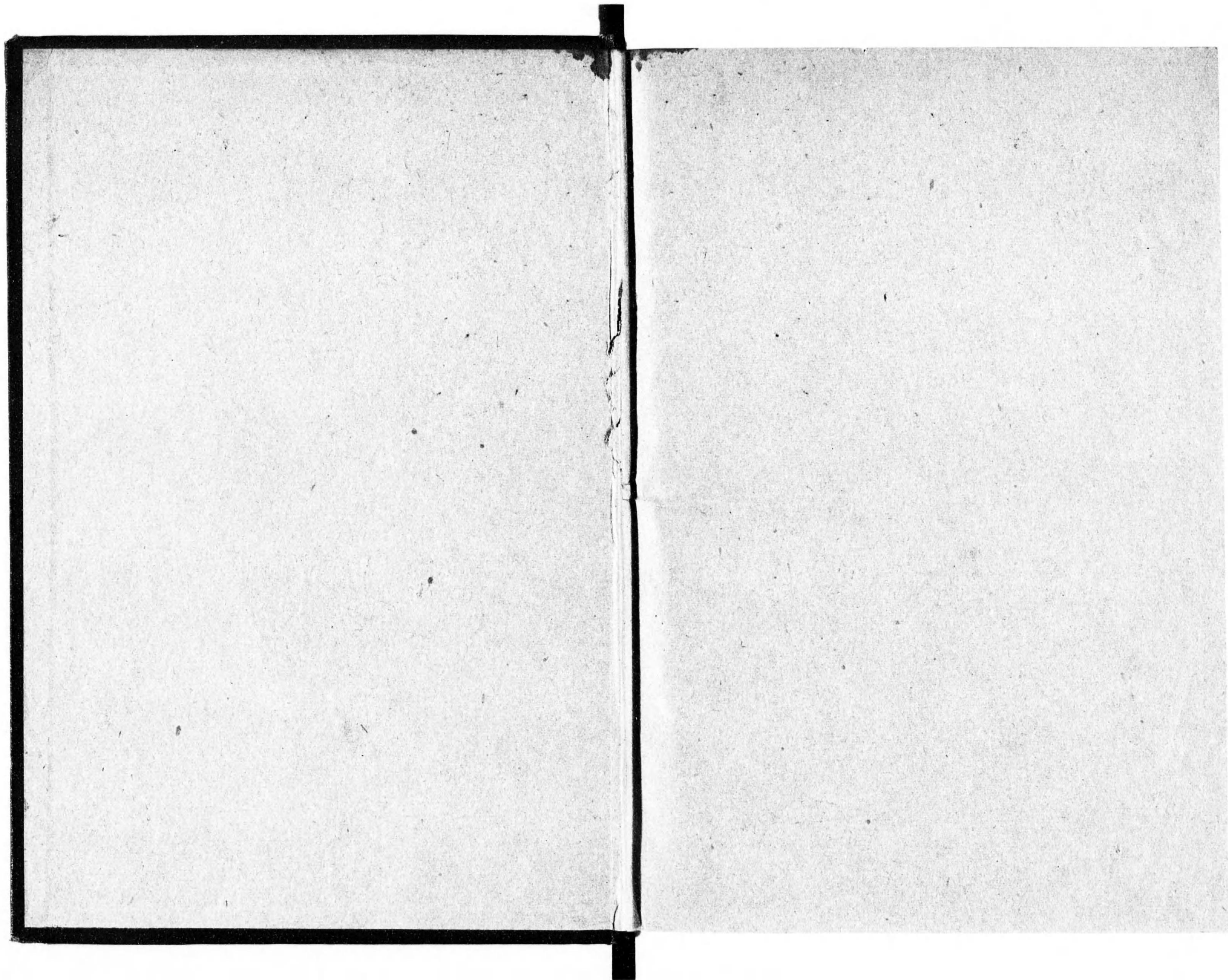
哲學と時代精神の關聯が如何に考へられるかは蓋し現代哲學に課せられた根本課題である。本書はこの解明のため現代哲學界の駿英榊俊雄、清水幾太郎、船山信一、竹下直之、瀧澤克巳等諸氏により夫々科學的に現代哲學の根本性格を衝いたもの。

教養としての哲學 谷川徹三他著

四六判三三三頁
定價一圓五十錢

内容 教養としての哲學・谷川徹三。教養・本田喜代治。行爲の哲學・島芳夫。哲學と政治・清水幾太郎。哲學と古典・田中美知太郎。哲學に於ける生死・鬼頭英一。道德論・由良哲次。戀愛の哲學・堀秀彦。現代日本の哲學・瀧澤克巳。

三笠書房刊行



終